2024年度 下 期

２０２５年１１月２９日

みやぎ生協　福祉活動助成金　助成活動報告書

団体名	一般社団法人もりの工房
代表者名	一條　重人
連絡先 TEL： FAX：	E-mail　s.ichijo@woodsfactory.com

１、助成事業報告

助成を受けた事業名	障害の多様性について理解を深める活動
事業の目的	・障害を抱えた方が陶芸の創作活動を楽しむプロセスを通して心の解放や意欲の向上、また何らかの問題を抱えた方の回復を目指す。 ・陶芸の創作活動を通し、障害者の就労機会の創出、社会参加の拡大を図る。 ・リーフレット等を用いて活動を啓発することで障害者の社会参加の拡大を図る。 ・障害者が制作した陶芸作品の展示・販売を行い、多くの方に作品に触れてもらい障害の多様性に対する理解を深めてもらう。
事業の具体的内容	私どもの団体では障害者と共に里山の保全活動を行っています。里山保全活動で出る伐採木を釉薬として利活用し、オリジナルの陶芸作品を制作しています。陶芸作品を通し障害についての理解を深まる活動を行っています。 現在は、窯を借りて作品の焼成を行なっていますが、借りられる窯が大きく頻繁に焼成ができません。(作品の点数が集まらないコスト高となるため) また、借りられる陶芸窯が灯油窯のため、専門的な知識と技術が必要となり専門家に依頼し焼成作業を行なっています。 そこで、本助成金を活用し小型の電気窯を購入したいと考えています。 小型の電気窯なら、専門家に依頼せずに頻繁にコストを抑えて焼成作業を行うことが可能となります。 容易に焼成作業を行える環境が整うことで、作品制作の効率化が図れます。

活動の開始から完了までの流れ	6月　陶芸窯購入、設置 7月　火入れ式 陶芸作品の制作開始 8月　陶芸作品の展示、販売 10月　リーフレットの制作 11月　マルシェに出展
活動の成果と教訓	・障害を抱えた方が陶芸の創作活動を楽しむプロセスを通して心の解放や意欲の向上に繋げることが出来ました。 ・陶芸の創作活動を通し、障害者の就労機会の創出、社会参加の拡大を図る機会となりました。 ・リーフレット等を用いて活動を啓発することで障害者の社会参加の拡大を図る機会となりました。 ・障害者が制作した陶芸作品の展示・販売を行い、多くの方に作品に触れてもらい障害の多様性に対する理解を深めてもらうことが出来ました。 障害者と共に制作した陶芸作品を通し、障害の多様性に関する理解を深めるとともに、障害者が協働・共生できる地域社会へと変容するための一助となることが出来ました。
今後の展望など	私どもの団体は牧場を中心とした里山で食と自然をテーマとし就労継続支援事業の開設を視野に入れ活動しています。 陶芸作品の制作は事業開設後も活動を継続し、障害者の就労支援に活用していきたいと考えています。 みやぎ福祉活動助成事業の終了後は、作品の売り上げ等で、啓発活動及び作品制作を継続できるよう活動の基盤を整えていきます。

2、助成金使途報告書

■　収入の部

確保した資金内容	金額（円）	備考
みやぎ生協福祉活動助成金	400,000	備品購入費
会費	550	支払手数料
合計	400,550	

■　支出の部

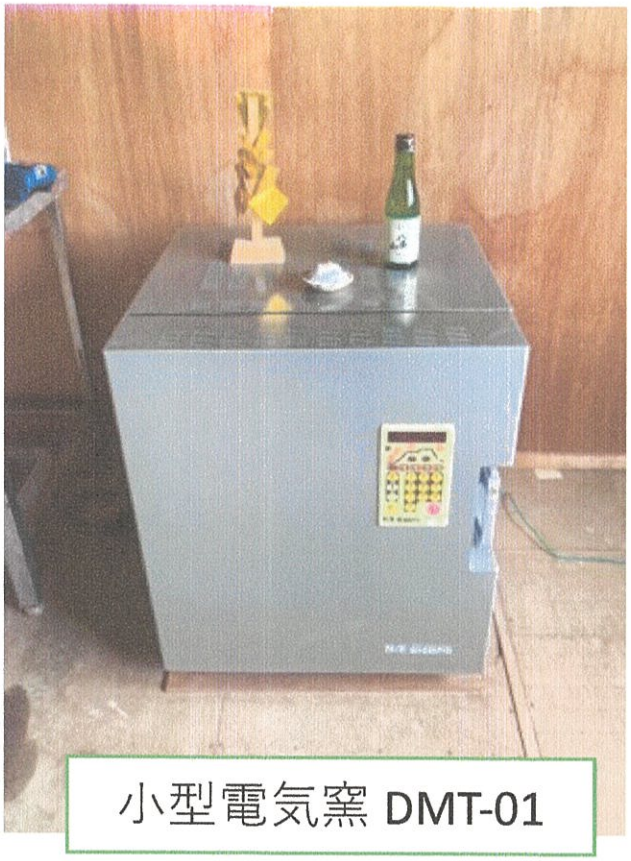
費目	内容	予算額（円）	実支出額
備品購入費	小型電気窯　DMT-01	408,000	400,000
支払手数料	振込手数料	0	550
合計		408,000	400,550

＊用紙が足りない場合は他の用紙などで補ってください。

3、送付必要書類

① 福祉活動助成金　助成活動報告書
　プリントアウトしたものを１部郵送、データもメールでお送りください。
② 領収書のコピー（郵送）
③ 成果物（活動の様子がわかる写真、または事業で作成したものを郵送）
　＊写真は郵送とメールで送ってください。

窯の安全と発展を祈願し、関係者一同で、厳かに
火入れ式を執り行いました。



小型電気窯 DMT-01



作品制作の様子



窯入れの様子



作成したリーフレットの内容

植物のお手入れ方法



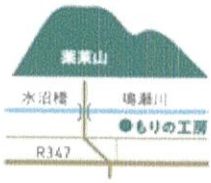
Point!
こまめに霧吹き

霧吹きで水を与えます。
陶器や植物の根がしっかり
混るように与えましょう。
他にも植物の乾燥を防ぐ
防虫効果、葉の汚れを落とす
などの効果があります。

Point!
ソーキング

バケツやボウルなどの大きめの
器に水をはり、その中に植物をつ
けることです。うっかり水やりを
忘れてしまい極端に乾いてしまっ
たときには、30分程度水に沈め
るソーキングを行います。

一般社団法人 **もりの工房**
恵城県加美郡加美町字上野目保室16番地
E-mail s.ichijo@woodsfactory.com
HP https://woodsfactory.com



農業と福祉が手を取り合い
持続可能な地域社会を目指します

もりの工房



一般社団法人 もりの工房



もりの工房のこと

～ありのままの自分で 生きられる社会をめざして～

学び 食やしごと、いのちの大切さを学ぶ
酪農教育ファーム

活かす 農福連携で共生可能な地域づくり

守る 乳牛・人・自然が豊かに調和する里山の保全

～もりの工房の活動例～

【清白窯】

～里山のめぐみを宿す、サスティナブルな焼き物～

里山保全活動で出た伐採木を余すことなく活用。その木々を丁寧に灰にし、自然の恵み豊かな釉薬（ゆうやく）として、焼き物に新たな命を吹き込みました。

里山の景色や季節の移ろい、牧場に暮らす生き物たち。
この焼き物には、里山の四季と、愛らしい動物たちが織りなす穏やかな生活の風景が宿っています。環境との調和に向けたメッセージを持つ、地球にも人にも優しいサスティナブルな焼き物。

動物たちと里山の四季が見守る、「循環の物語」をぜひお手元でお楽しみください。



令和7年7月28日　　牧場での展示・販売会







令和7年11月22日　Kankaku Art Flea Market　出展

